

高次脳機能障害のある子供の理解

～高次脳機能障害がある私から伝えたいこと、私にとっての学生時代とは～

WEB 配信

主催：東京都福祉局
障害者施策推進部精神保健医療課
東京都心身障害者福祉センター地域支援課
協力：東京都教育庁指導部 特別支援教育指導課

日時 令和6年 **8** 月 **14** 日（水曜日）
午前9時から
、
令和6年 **9** 月 **1** 日（日曜日）
午後10時まで



定員 700人（先着順）
（教育関係者 450 人、医療・福祉等関係者 250 人）

申込み 令和6年7月8日（月曜日）午前9時から
令和6年8月1日（木曜日）午後5時まで

※先着順、定員になり次第締め切ります。多くの方のお申込みをお待ちしております。

プログラム

講演「小児期の高次脳機能障害の理解と対応」 約70分

講師：京都文教大学 臨床心理学部 臨床心理学科 教授
産業メンタルヘルス研究所 所長

なかしま けいこ
中島 恵子 氏

小児期の高次脳機能障害、発達障害との違い、高次脳機能障害になった子どもにとっての学校とは、
家族・兄弟支援等について御講演いただきます。

トークセッション「高次脳機能障害がある私から伝えたいこと」 約60分

登壇者：高次脳機能障害の子どもを持つ家族の会 ハイリハジュニアプラス 会員 うえき けいた 植木 啓太 氏
高次脳機能障害の子どもを持つ家族の会 ハイリハキッズ 代表 なかむら ちほ 中村 千穂 氏
学校関係者 はやしだ まりこ 林田 麻理子 氏

病気後の復学、復学後に噴出する課題への困惑、学校生活…進級進学等について、御本人の体験談を成人になった今だから話せることも含めて語っていただきます。
学校関係者、高次脳機能障害の子どもを持つ家族の会の代表者も交え、子どもの将来の自立に向けて、切れ目のない支援を構築していくため、多様な機関が連携することの大切さ等も赤裸々に語っていただく本音トークです。

〔申込みについて〕 対象者別に下記 URL または QR コードからお申込みください。

＜教育関係者＞ 450人（先着順）

①対象：【教育関係者】小・中学校、高等学校、特別支援学校、教育相談所（室）の教職員、スクールカウンセラー、特別支援教育支援員等

インターネット	L GWAN
https://logoform.jp/form/tmgform/581366	https://tb.logoform.st-japan.asp.lgwan.jp/form/tmgform/581366
	

＜医療・福祉等関係者＞ 250人（先着順）

②対象：【区市町村】区保健所、区市町村保健センター、子供家庭支援センター等
【医療機関】急性期や回復期等の医療関係者、OT、PT、ST 等の専門職等

インターネット	L GWAN
https://logoform.jp/form/tmgform/581698	https://tb.logoform.st-japan.asp.lgwan.jp/form/tmgform/581698
	

〔注意事項〕

- ・ 申込期間と配信期間を間違えないように注意してください。
- ・ 動画の URL 及び資料はお申込みいただいた方のみにメールで御連絡いたします。
申込時のメールアドレスは個人アドレスでも職場のアドレスでも構いません。
受講者が閲覧可能なアドレスにしてください。
- ・ 動画は、パソコン、タブレット、スマートフォンで視聴できます。
- ・ 動画には、文字情報（テロップ）はつきませんので、御了承ください。
- ・ 動画のダウンロード、録画、録音等は御遠慮ください。
- ・ 資料はデータをダウンロードしていただく予定です。

御不明点等ございましたら、下記事務局宛に御連絡ください。

【事務局】

東京都心身障害者福祉センター地域支援課

高次脳機能障害者支援担当

〒162-0823

東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ13階

TEL: 03-3235-2956

この研修は、高次脳機能障害支援体制加算の要件となる研修ではありません